

衛研第1-48号
平成27年 2月 4日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 27 年 第 5 週（平成 27 年 1 月 26 日～平成 27 年 2 月 1 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、デング熱 1 人、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 5 人、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 1 人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**インフルエンザ**(25.38 20.25)の定点当たり報告数は、年当初より緩やかな減少傾向を示しているが、依然報告数の多い状況が続いている。保健所別では、草加(36.71)、東松山(26.75)、春日部(22.68)、狭山(22.42)保健所からの報告が多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.62 2.63)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まった。保健所別では、草加(1.73 3.91)保健所管内で大きく増加し、川口(4.40)、朝霞(3.43)、鴻巣(3.33)保健所管内からの報告が多い。**伝染性紅斑**(0.76 0.72)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まったが、前年同時期(4～6 週平均 0.09)より多い状況にある。保健所別では、加須(0.60 1.40)、熊谷(0.22 1.00)保健所管内で大きく増加し、朝霞(1.71)、川口(1.20)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、5 歳が 26 人と最も多く、4～7 歳で全体の 63.4%を占めている。**感染性胃腸炎**(9.13 8.36)の定点当たり報告数は第 2 週以降、同水準の報告が続いている。保健所別では、熊谷(15.89)、さいたま市(13.19)、東松山(10.40)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎** 8 人の報告があり、前週(21 人)より減少した。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 1 人、**マイコプラズマ肺炎** 2 人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)** 1 人の報告があった。**インフルエンザ(入院)** は 13 人の報告があり、前週(23 人)より減少した。

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

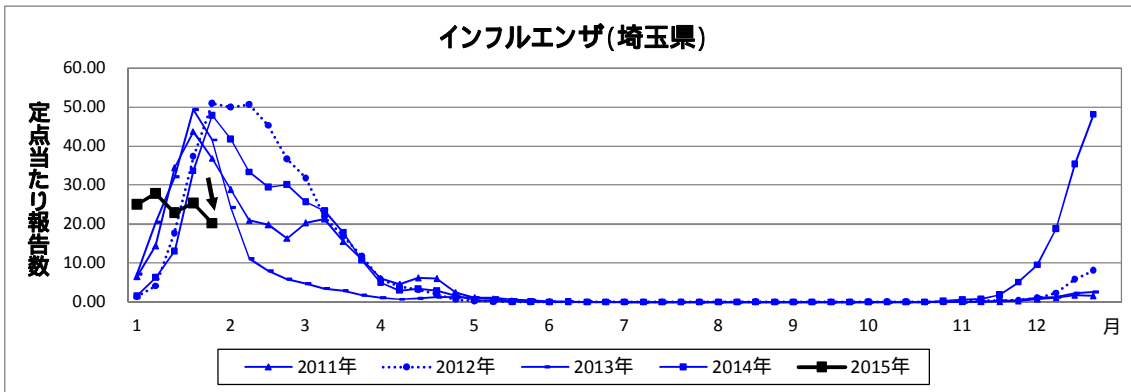
一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	報告なし	
四類感染症	E 型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	デング熱	1人（推定感染地域 国外）
	レジオネラ症	1人（病型 肺炎型）
五類感染症	アメーバ赤痢	1人（病型 腸管アメーバ症）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp.）
	急性脳炎	5人（病原体 RS 1人、インフルエンザ A 2人、ヘルペス 1人、ロタ 1人）
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1人（病型 古典型）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2人（血清群 A 群 1人、G 群 1人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	1人
	梅毒	1人（病型 早期顕症 期）
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1人

- 1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>
- 2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ (URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

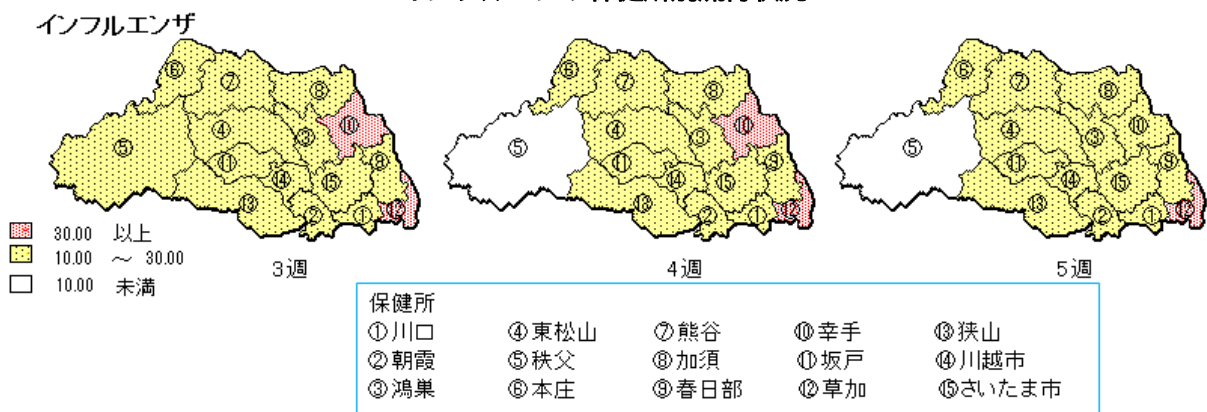
注目すべき疾患

- インフルエンザ -

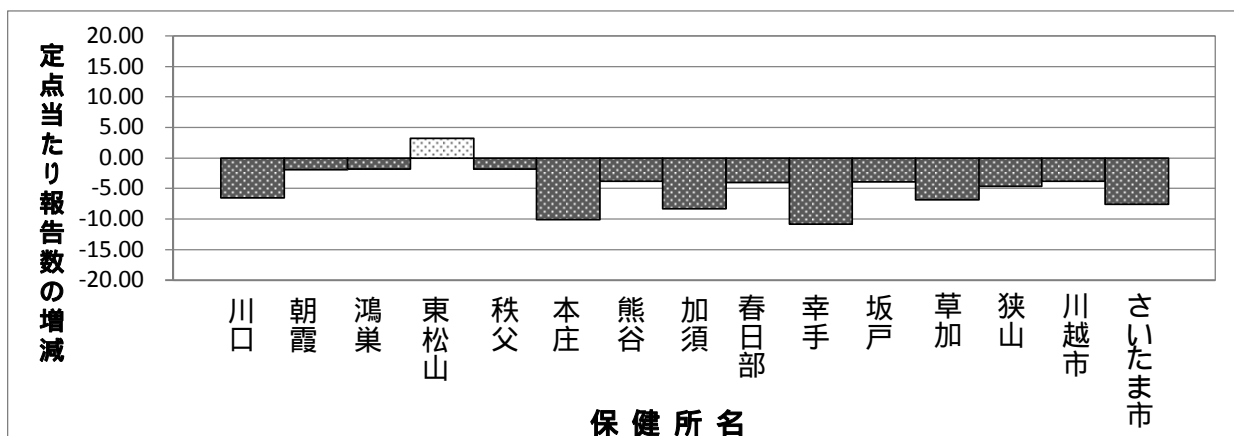
インフルエンザは、県全体で4,962人の報告があり、定点当たり報告数(25.38 20.25)は前週より減少した。保健所別では、東松山保健所管内を除く14保健所管内で前週を下回ったが秩父保健所を除く14保健所管内で定点当たり10.00を超えた状況が続いている。年齢階級別では、10歳未満で6歳の380人、5歳の372人の順に多く、10歳以上では、10-14歳の886人が最も多い。



インフルエンザ保健所別流行状況

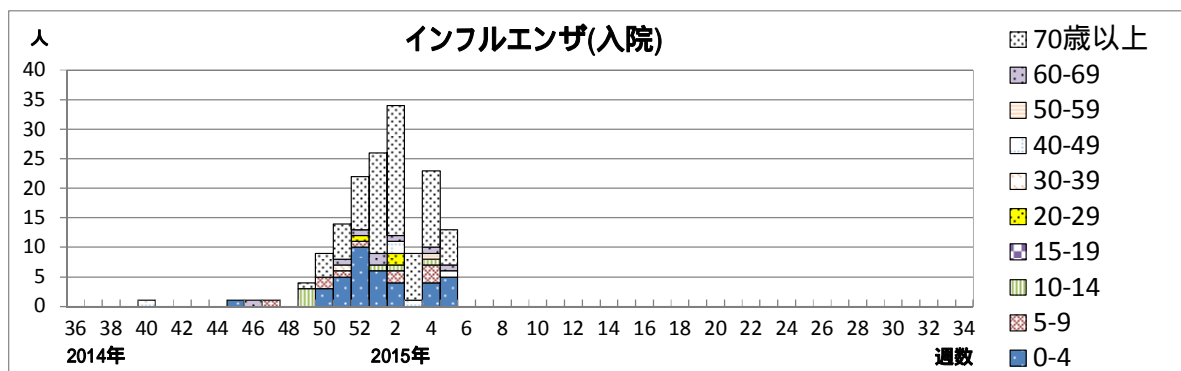


インフルエンザ保健所別定点当たり報告数の増減



- インフルエンザ(入院)(基幹定点報告) -

基幹定点(10 医療機関)のうち 6 カ所から今週は 13 人の報告があり、前週 23 人より減少した。年齢階級別では、70 歳以上(6 人)の報告が多く、その他 0~4 歳が 5 人、30 歳代と 60 歳代が各 1 人で、0~4 歳の割合が増加した。



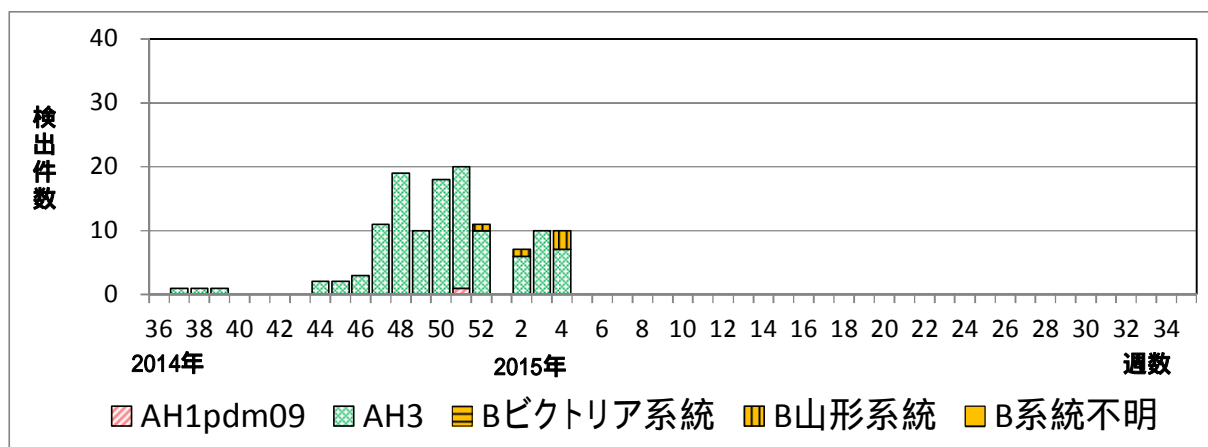
- インフルエンザウイルス検出状況 -

前週以降第5週までに、さいたま市(4人)、狭山(3人)、東松山(2人)、鴻巣、春日部(各1人)保健所管内で採取された計11検体から、新たにAH3(A香港)9件、B型2件が検出された。9月以降の検出はAH3(A香港)が120件、AH1pdm09が1件、B型が5件の計126件でA香港の検出が多い。

年齢階級別インフルエンザウイルス検出状況

2014年36週から		年齢階級								計
		0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
AH1pdm09	今週検出分									-
	累積	1	-	-	-	-	-	-	-	1
AH3(A香港)	今週検出分	7	1			1				9
	累積	58	33	4	6	8	4	4	3	120
B型	今週検出分	1	1							2
	累積	1	2	1	1	-	-	-	-	5

週別インフルエンザウイルス検出状況



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第5週)

(2015年2月3日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2014年 累計		今週 届出	累 計	2014年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1,375	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			2	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症		5	265				
四類感染症							
E型肝炎	1	1	12	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
ウエストナイル熱				ニパウイルス感染症			
A型肝炎		1	8	日本紅斑熱			
エキノコックス症				日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病				Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
サル痘				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	6	55
つつが虫病			1	レプトスピラ症			
デング熱	1	1	14	ロッキー山紅斑熱			
東部ウマ脳炎							
五類感染症							
アメーバ赤痢	1	3	41	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	75
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			10	水痘*			3
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	3	先天性風しん症候群			
急性脳炎	5	5	27	梅毒	1	4	51
クリプトスポリジウム症			1	播種性クリプトコックス症			4
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	6	破傷風			5
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	10	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		2	45	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	3	6
ジアルジア症			1	風しん		2	9
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	10	麻しん		1	29
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			2
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計				

累計は診断日で集計
* 2014年累計は速報値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査		週情報		報告患者数		保健所別		(第5週)		平成27年1月26日～平成27年2月1日)									
	報告数	定点点当たり	咽頭結膜熱	咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)
全	4,962	90	32	410	1,304	57	20	112	69	-	2	55	-	8	-	1	2	-	1	13
川	20.25	0.58	0.21	2.63	8.36	0.37	0.13	0.72	0.44	-	0.01	0.35	-	0.19	-	0.10	0.20	-	0.10	1.30
朝	334	12	10	66	138	10	1	18	5	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
朝	14.52	0.80	0.67	4.40	9.20	0.67	0.07	1.20	0.33	-	-	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-
朝	418	4	5	48	116	9	-	24	5	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1
朝	19.90	0.29	0.36	3.43	8.29	0.64	-	1.71	0.36	-	-	0.07	-	0.75	-	-	-	-	-	1.00
鴻	315	3	1	40	93	8	2	5	4	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鴻	16.58	0.25	0.08	3.33	7.75	0.67	0.17	0.42	0.33	-	0.08	0.25	-	0.33	-	-	-	-	-	-
東	214	-	-	4	52	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
東	26.75	-	-	0.80	10.40	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	1.00	1.00	-	-	-
秩	35	3	-	3	9	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
秩	7.00	1.00	-	1.00	3.00	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	2.00
本	135	1	-	5	19	1	2	1	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
本	19.29	0.25	-	1.25	4.75	0.25	0.50	0.25	0.50	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
熊	283	5	-	22	143	1	-	9	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
熊	20.21	0.56	-	2.44	15.89	0.11	-	1.00	0.56	-	-	0.11	-	-	-	-	-	-	-	1.00
加	138	2	-	1	11	2	-	7	2	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
加	15.33	0.40	-	0.20	2.20	0.40	-	1.40	0.40	-	-	1.80	-	-	-	-	-	-	-	-
春	431	3	-	18	68	4	2	11	4	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3
春	22.68	0.25	-	1.50	5.67	0.33	0.17	0.92	0.33	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	3.00
幸	293	10	6	21	42	5	1	-	-	-	-	9	-	-	-	-	1	-	-	-
幸	20.93	1.11	0.67	2.33	4.67	0.56	0.11	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	1.00	-	-	-
坂	190	7	2	13	35	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
坂	19.00	1.17	0.33	2.17	5.83	0.50	-	0.33	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
草	624	4	3	43	74	3	2	6	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
草	36.71	0.36	0.27	3.91	6.73	0.27	0.18	0.55	0.73	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
狭	583	14	3	42	84	7	1	5	9	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1
狭	22.42	0.82	0.18	2.47	4.94	0.41	0.06	0.29	0.53	-	-	0.41	-	-	-	-	-	-	-	1.00
川	234	2	-	10	77	-	-	4	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
川	18.00	0.25	-	1.25	9.63	-	-	0.50	0.13	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
さい	735	20	2	74	343	4	9	20	21	-	1	6	-	4	-	-	-	-	-	5
さい	18.38	0.77	0.08	2.85	13.19	0.15	0.35	0.77	0.81	-	0.04	0.23	-	0.50	-	-	-	-	-	5.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第5週 平成27年1月26日～平成27年2月1日)

	合計																			
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	4,962	10	60	194	184	225	330	372	380	357	261	886	196	154	304	301	152	115	84	45
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
RSウイルス感染症	90	21	22	28	16	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	32	-	1	12	8	4	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	410	-	-	13	12	30	49	67	66	40	31	31	59	2	10	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,304	10	52	155	112	113	113	101	87	73	59	45	147	43	194	-	-	-	-	-
水痘	57	1	3	5	8	9	4	4	4	5	1	3	3	2	-	-	-	-	-	-
手足口病	20	-	-	4	7	4	1	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	112	-	-	5	7	7	15	26	18	12	9	6	7	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	69	1	22	38	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	55	-	-	-	1	5	10	15	6	7	4	4	2	1	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	13	2	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第3週

(1月12日～1月18日)

平成27年2月4日

インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(99.58)、沖縄県(84.78)、熊本県(73.59)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,750例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(79例)、1～9歳(308例)、10代(49例)、20代(28例)、30代(25例)、40代(44例)、50代(65例)、60代(153例)、70代(303例)、80歳以上(696例)であった。

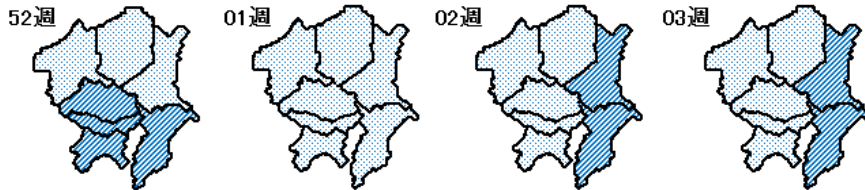
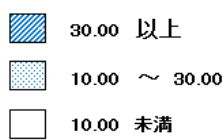
RSウイルス感染症の報告数は2,181例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(0.79)、北海道(0.62)、富山県(0.55)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は石川県(4.93)、鳥取県(4.37)、山形県(3.73)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(12.00)、宮崎県(11.11)、熊本県(10.62)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.98)、佐賀県(0.96)、福岡県(0.88)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(1.47)、沖縄県(0.97)、鹿児島県(0.80)である。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.06)、鳥取県(0.05)、栃木県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(0.13)、大分県(0.11)、富山県(0.07)、香川県(0.07)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(2.40)、石川県(1.00)、静岡県(0.80)、香川県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。24都道府県から68例報告があり、年齢別では0歳(16例)、1～4歳(43例)、5～9歳(6例)、50代(1例)、70歳以上(2例)であった。

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、千葉県(34.35)、茨城県(30.92)からの報告が多い。

インフルエンザ



平成27年 03週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 183,087 定点当たり 37.00	37,741 25.09	3,710 30.92	2,199 28.93	2,853 29.11	5,639 22.92	7,283 34.35	8,198 19.71	7,859 23.39
RSウイルス感染症	報告数 2,181 定点当たり 0.69	446 0.47	39 0.52	32 0.67	49 0.82	91 0.58	34 0.26	118 0.45	83 0.39
咽頭結膜熱	報告数 721 定点当たり 0.23	172 0.18	7 0.09	6 0.13	9 0.15	39 0.25	42 0.32	44 0.17	25 0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 5,797 定点当たり 1.84	1,592 1.68	102 1.36	55 1.15	116 1.93	280 1.78	212 1.61	493 1.87	334 1.58
感染性胃腸炎	報告数 23,339 定点当たり 7.39	7,721 8.16	732 9.76	266 5.54	537 8.95	1,226 7.81	1,137 8.61	2,224 8.46	1,599 7.58
水痘	報告数 1,630 定点当たり 0.52	470 0.50	43 0.57	22 0.46	17 0.28	87 0.55	48 0.36	104 0.40	149 0.71
手足口病	報告数 730 定点当たり 0.23	102 0.11	11 0.15	10 0.21	11 0.18	13 0.08	8 0.06	26 0.10	23 0.11
伝染性紅斑	報告数 1,371 定点当たり 0.43	792 0.84	14 0.19	29 0.60	19 0.32	105 0.67	113 0.86	237 0.90	275 1.30
突発性発しん	報告数 1,312 定点当たり 0.42	402 0.42	11 0.15	25 0.52	22 0.37	82 0.52	62 0.47	102 0.39	98 0.46
百日咳	報告数 23 定点当たり 0.01	9 0.01	-	2 0.04	2 0.03	-	-	3 0.01	2 0.01
ヘルパンギーナ	報告数 61 定点当たり 0.02	7 0.01	-	-	3 0.05	1 0.01	1 0.01	2 0.01	-
流行性耳下腺炎	報告数 828 定点当たり 0.26	208 0.22	9 0.12	2 0.04	6 0.10	46 0.29	48 0.36	57 0.22	40 0.19
急性出血性結膜炎	報告数 10 定点当たり 0.01	3 0.01	-	-	-	1 0.02	-	1 0.03	1 0.02
流行性角結膜炎	報告数 315 定点当たり 0.46	111 0.55	11 0.65	6 0.50	10 0.77	16 0.39	22 0.65	17 0.44	29 0.63
細菌性髄膜炎 #2	報告数 9 定点当たり 0.02	2 0.02	-	-	-	-	-	1 0.04	1 0.10
無菌性髄膜炎	報告数 12 定点当たり 0.03	6 0.07	-	-	-	1 0.10	3 0.33	1 0.04	1 0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数 128 定点当たり 0.27	23 0.28	6 0.46	2 0.29	4 0.50	3 0.30	-	6 0.24	2 0.20
クラミジア肺炎 #3	報告数 2 定点当たり 0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 68 定点当たり 0.14	18 0.22	-	2 0.29	5 0.63	1 0.10	2 0.22	6 0.24	2 0.20

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)



ホーム > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2015年 > 感染症の流行状況 2015年 第5週

感染症発生動向調査 2015年

- [感染症の流行状況 2015年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第4週](#)

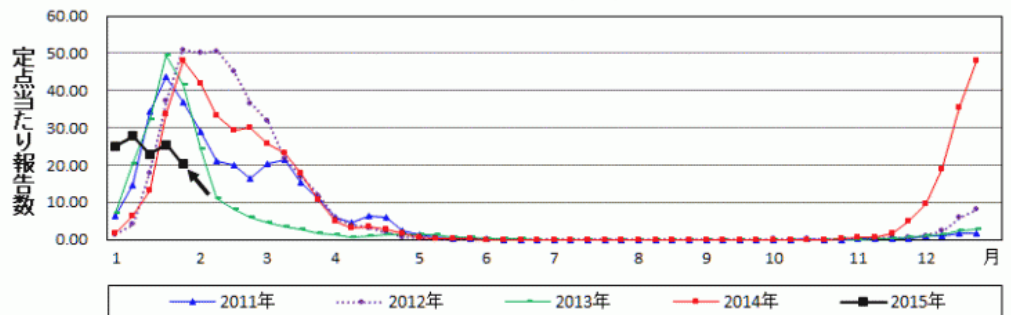
感染症の流行状況 2015年 第5週

2015年5週（平成27年1月26日～2月1日）の要点 平成27年2月4日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週より減少しましたが、引き続き報告数の多い状況が続いており、注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ			伝染性紅斑		
RSウイルス感染症			突発性発しん		
咽頭結膜熱			百日咳		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			ヘルパンギーナ		
感染性胃腸炎			流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		
水痘(みずぼうそう)			急性出血性結膜炎		
手足口病			流行性角結膜炎		

*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(:増減無し、 :増加、 :減少) *3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい、 、 大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン

お問い合わせ

[保健医療部 衛生研究所](#) 感染症疫学情報担当

郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1 埼玉県衛生研究所

電話：0493-59-9325

ファックス：0493-59-9613

[お問い合わせフォーム](#)